

iPhone/iPad接続マニュアル DTX400シリーズ/DTX502シリーズ用

iPhoneやiPad、iPod touchと電子楽器を接続し、専用のアプリケーションを使えば、音楽データの管理がより簡単にできたり、さまざまな楽しい機能が使えたりと、楽器をもっと便利に楽しむことができます。

NOTE 以降、本マニュアルではiPhoneとiPod touchをまとめてiPhoneと表記します。

アプリケーションについて

ヤマハが提供しているDTX対応アプリケーションについては「電子ドラム スマートデバイスアプリケーションページ (http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/drums/apps/)」でご確認ください。

アプリケーションにより、iPhone/iPadの対応機種/動作環境は異なりますので、ウェブサイト上でよくご確認ください。 楽器とスマートデバイスを接続せずに使えるアプリケーションもあります。(この場合、本書で紹介している接続は不要です。)

■ アプリケーションの入手

上記URLの各アプリケーションのページにあるApp Storeアイコンをクリック/タップしてApp Storeページに行くと、アプリケーションをダウンロードできます。

ご使用上の注意

iPhone/iPadの落下を防ぐために、以下のことにご注意ください。

- 楽器を移動したり傾けたりする場合は、iPad/iPhoneの接続を外し、楽器から離してください。
- iPhone/iPadを不安定な場所に置いたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- 使用後や楽器から離れる場合は、必ずiPhone/iPadの接続を外し、楽器の上に置いたままにしないでください。

■ 通信ノイズを防ぐための注意事項

iPhone/iPadの通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

お知らせ

- このマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/ サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

接続する

楽器の電源を切っておきます。

iPhone/iPad上のアプリケーションは、すべて終了しておいてください。

iPhone/iPadを楽器に接続します。

接続タイプに記載されている手順数字に従って、順番に接続してください。

- 楽器の電源を入れます。
- **4** 手順3で接続は完了ですので、実際にアプリケーションを使ってみましょう。

接続タイプを選ぶ

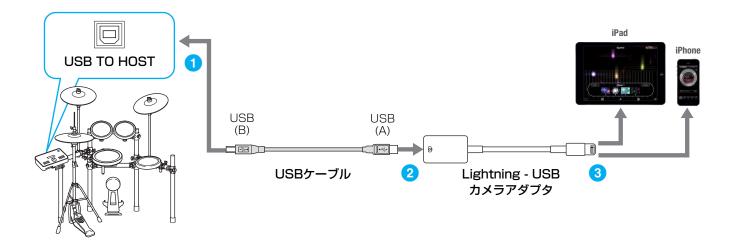
iPhone/iPadは、お使いのコネクターとiOSのバージョンによってそれぞれ接続方法が違います。お持ちのiPhone/iPadはどの接続タイプになるのか、下図で確認してみましょう。

■ iPhone/iPad接続タイプ早見表

iPhone/iPod touch				iPad	
Lightningコネクタ		30ピン コネクタ		Lightning コネクタ	30ピン コネクタ
iOS 7.0以降	iOS 4.3~6.1.5	iOS 7.0以降	iOS 4.3~6.1.5	iOS 4.3以降	
A または C	С	B または D	D	A または C	B または D

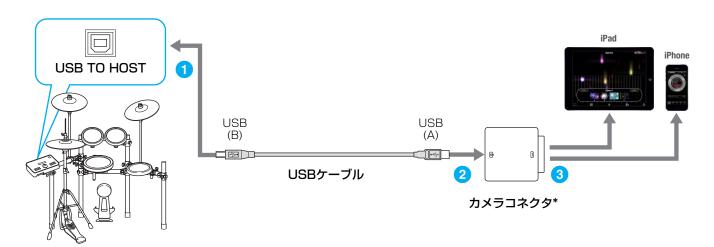
接続 A

接続方法は2ページをご覧ください。



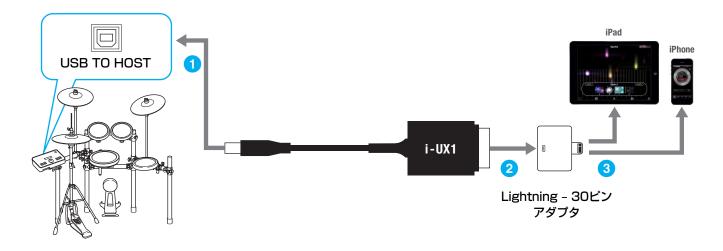
接続 B

接続方法は2ページをご覧ください。



*カメラコネクタはApple iPad Camera Connection Kitに付属しています。

接続 C 接続方法は2ページをご覧ください。



接続 D 接続方法は2ページをご覧ください。

